

平成28年度医療機器安全管理 スキルアップ実機演習セミナー実施要領

第5次医療法改正（平成19年施行）では、医療安全の確保に重点が置かれ、「医療機器に係る安全確保のための体制の確保」が義務付けられました。しかしながら、中小病院等においては、医療機器を統括して管理する部署が設置されていないことが多く、マンパワー不足等の理由から、医療機器安全管理責任者等には、医療機器の日常・定期点検及び保守点検において大変な苦勞を強いられているものと推察します。

このような実情を踏まえ、県では、病院等の医療機器安全管理責任者（副責任者等も含む）を対象に、実機を操作しながら医療機器管理の基礎スキルを習得できるセミナーを開催します。

本セミナーは、日頃、点検項目が多くどこにポイントをおいて実施すればよいか分からない、あるいは、使用前、使用中及び使用後の点検に分けて実施しなければならないが、患者の治療やケアを中心に業務を行っている看護師などにとっては、点検の実施時期がわかりづらいなどの医療従事者の声に着眼し、医療機器の安全管理を効果的に行うためにはどこにフォーカスすればよいか具体的に講習するものです。

開催にあたっては、本年11月郡山市に開所した医療機器開発や医療従事者手技トレーニングが実施できる国内初の施設である「ふくしま医療機器開発支援センター」を活用します。

【セミナー概要】

- 1 日時：第1回 平成29年2月 5日（日）10:00～16:00
第2回 平成29年2月19日（日）10:00～16:00
※いずれも同一のプログラム
- 2 場所：ふくしま医療機器開発支援センター（郡山市富田町字満水田27番8）
- 3 主催：福島県（保健福祉部薬務課）
- 4 後援：（一社）福島県医師会、（一社）福島県病院協会、（公社）福島県看護協会、（一社）福島県臨床工学技士会
- 5 対象：中小病院（200床未満）と有床診療所の
医療機器安全管理責任者又は副責任者等（医師が責任者で看護師等がサポートする場合）
- 6 定員：各15名程度（各医療機関からの参加者は1名とする）
※原則は先着順とするが応募多数の場合、事務局が日程調整する場合あり。
- 7 参加費：無料
- 8 プログラム
 - (1) あいさつ（福島県） 10:00～
 - (2) プログラム説明 10:05～10:15
 - (3) 講義「医療機器安全管理責任者に求められていること」 10:15～11:00(45分)
（大）福島県立医科大学 大学健康管理センター所長 特任教授 猪狩次雄氏
 - (4) 実機演習「医療機器安全管理の実際」
担当：（大）福島県立医科大学附属病院 臨床工学センター
※一部の医療機器では、医療機器メーカー担当者が説明する。
 - ①人工呼吸器管理のトラブル事例と適正管理 11:00～12:00(60分)
 - ②輸液ポンプ・シリンジポンプのトラブル事例と適正管理 13:00～14:00(60分)
 - ③除細動器のトラブル事例と適正管理 14:00～14:30(30分)
 - ④高圧蒸気滅菌器のトラブル事例と適正管理 14:40～15:10(30分)
 - ⑤電気関連・医療ガスのトラブル事例と適正管理 15:10～15:30(20分)
 - (5) 講義「医療機器安全使用のための情報管理」 15:30～16:00(30分)
（公財）医療機器センター附属医療機器産業研究所 上級研究員 青木郁香氏
 - (6) 閉会 16:00
- 9 その他
 - ・ 後日、研修受講証明書を交付します。
 - ・ 日本医師会生涯教育講座（取得単位2.5単位）が取得できます。
 - ・ セミナー閉会后、支援センターの見学ツアーを行います（希望者のみ）。